

地域医療連携室 だより

宮城県立がんセンター
MIYAGI CANCER CENTER

平成19年3月1日発行



発行 地域医療連携室
TEL (022) 384-3151
FAX (022) 381-1169

創刊号

地域医療連携室だより創刊のごあいさつ

宮城県立がんセンター 総長 桑原正明



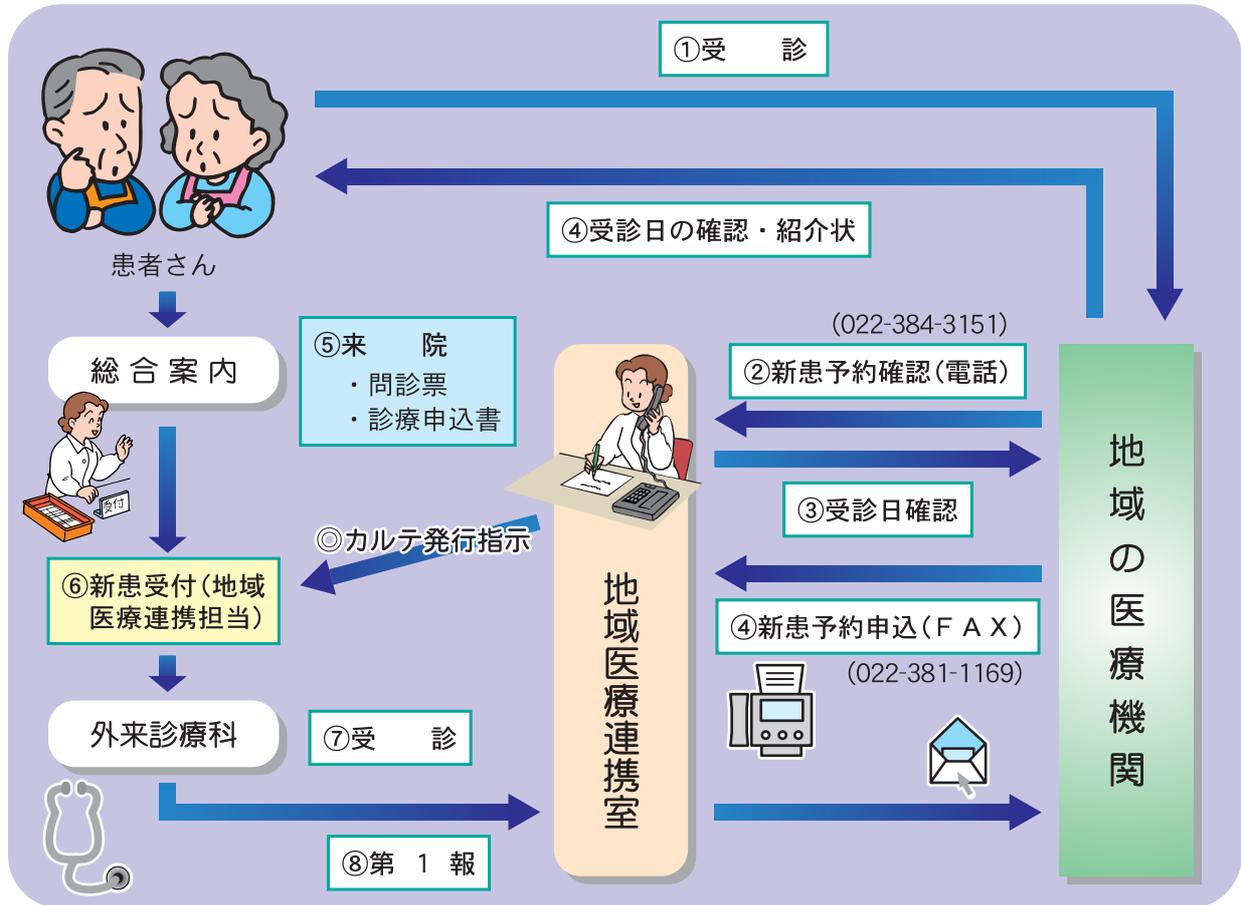
厚生労働省では患者のQOL向上を目指し、地域医療では入院から在宅医療まで切れ目のない形で医療連携を推進しています。その背景には増大する医療費対策がありますが、病院および診療所のそれぞれに厳しい体質改善が求められています。具体的には在院日数短縮や在宅医療への移行による入院患者の削減であり、同時に病-病連携、病-診連携、在宅医療連携による診療所を含めた退院患者の受け入れ態勢の整備などです。こうした一連の医療改革は経済誘導によって推し進められており、“医療連携”はこれからの地域医療のキーワード

です。

がん医療も昨年夏のがん対策基本法の成立により、今までになく強力で推進されることになり、付帯決議にはそれぞれの地域の医療機関が診療レベルに応じて機能分担し、連携を強化することが明記されています。さらに、がん医療の均てん化のため、現在、全国に286のがん診療連携拠点病院が指定され、そのうち16施設は都道府県の拠点病院になりました。宮城県では本センターが東北大学病院とともに県拠点病院として指定され、これからはがん診療連携拠点病院やそれぞれの関連医療機関との診療連携も強化することが求められています。宮城県立がんセンターは発足以来13年、前身の成人病センターから数えれば40年が経過し、地域医療機関の皆様のご支援により、宮城県だけではなく東北地方からもがん専門病院として評価されるようになってきました。当センターの地域医療連携室では昨年来、およそ700の病院・診療所からご紹介された患者さんに対応して参りましたが、連携をさらに緊密にするため、このたび「地域医療連携室だより」を創刊しました。本誌を地域のがん診療情報誌としてさらに充実させたいと願っておりますので、忌憚のないご意見をお寄せいただければ幸いです。

受診のご案内

地域医療連携フロー



診療予約受付の流れ

- ①患者さん：地域医療機関を受診されます。
- ②地域医療機関：がんセンター地域医療連携室に電話で診療予約の確認を頂きます。
- ③がんセンター地域医療連携室：電話申し込み時、来院予約日・時間のご案内をします。
- ④地域医療機関：患者さんに来院予約日・時間をお知らせ願います。
新患診療予約申し込み書に必要事項を記入し、地域医療連携室までFAX（022-381-1169）で送付頂きます。
- ⑤患者さん来院：予約当日に総合案内までおこしください。問診票・診療申込書の記入をして頂きます。
- ⑥記入済みの問診票・診療申込書、保険証・診療情報提供書を新患受付（地域医療連携担当）にお渡し願います。
- ⑦診療科にご案内し、受診して頂きます。
- ⑧ご紹介医療機関に第一報として来院のご連絡。詳細として検査等判明後診療情報提供書をお送りします。



診療科紹介 泌尿器科

診療科長
栃木 達夫

■ 当科の概要

泌尿器科は平成5年5月の当センター開設時に新設され、現在総長である桑原医師1名でスタートしました。その後、増員により現在常勤医師3+1名（栃木、川村、青木+桑原）で主に泌尿器科領域悪性腫瘍の診断と治療を行っています。泌尿器科の入院病床数は22、1年間の外来新患者数は約700名、入院患者数は約320～350名、年間手術件数は160～180件です。



■ 当科の特徴

前立腺癌：名取市の協力により平成6年より当泌尿器科が中心となって名取市の前立腺癌検診に行ってきました。急増している疾患で、最近では県南各地の前立腺癌検診の二次検診にも協力しています。早期例には全摘術や放射線外照射などの根治的治療を積極的に行っています。

膀胱癌：浸潤性膀胱癌に対し化学放射線同時併用療法を行い治療成績の向上に努めています。

■ スタッフ紹介

平成19年2月現在のスタッフは、栃木達夫（診療科長・医療部長：専門医、指導医）、川村貞文（医療部長：専門医、指導医）、青木大志（医長：専門医、指導医）+桑原正明（総長：専門医、指導医）の3+1名です。



■ 診療状況

外来診療は、月・水・木の週3回行い、月曜は栃木と川村、水曜は川村と桑原、木曜は栃木と青木が担当しています。

■ 診療実績

腎臓癌：年間の腎臓癌手術件数は約20例で殆どを開腹手術でしています。小さい癌には腎部分切除術を行っています。手術非適応例には腎動脈塞栓術、インターフェロンなどを組み合わせた治療を行っています。臨床病期別5年全生存率は、I期85.7%、II期100%、III期86.3%、IV期25.2%です。

膀胱癌：年間の膀胱全摘術約8例、内視鏡手術約40例です。浸潤性～局所進行膀胱癌には術前に化学放射線同時併用療法を積極的に行い、著効例には膀胱温存もしています。臨床病期別5年全生存率は、0a期、95%、0is期、100%、I期、79.3%、II期、75.6%、III期、44.6%、IV期27.6%です。

前立腺癌：75才以下の全身状態良好な早期癌例には根治的治療として全摘術を積極的に行っています。年間の前立腺全摘術は約60例です。手術非希望例や75才以上の例には根治的治療として外照射も積極的に行っています。一定の条件を満たせば無治療経過観察も行っています。臨床病期別5年全生存率は、stage A 89.4%、stage B 93.6%、stage C 79.8%、stage D1 59.8%、stage D2 44.6%です。

外来新患診療体制表 平成19年3月現在

(宮城県立がんセンター)

診療科	曜日	月	火	水	木	金
消化器科		消化器科	消化器科	消化器科	消化器科	消化器科
内科	血液内科	血液内科	血液内科	血液内科	血液内科	血液内科
	循環器科	循環器科		循環器科	循環器科	
	化学療法科	化学療法科		化学療法科		
呼吸器科	呼吸器科	呼吸器科	呼吸器科	呼吸器科	呼吸器科	
外科	乳腺科	乳腺科		乳腺科	乳腺科	
	外科	外科	外科	外科	外科	外科
整形外科			整形外科		整形外科	整形外科
脳神経外科	脳神経外科			脳神経外科		脳神経外科
耳鼻科	耳鼻科	耳鼻科			耳鼻科	
形成外科			形成外科			形成外科
婦人科	婦人科	婦人科			婦人科	
泌尿器科	泌尿器科			泌尿器科	泌尿器科	
放射線科	放射線科	放射線科			放射線科	放射線科
緩和医療科				緩和医療科		緩和医療科

診療受付時間：午前8時30分～11時00分までをお願いします。
TEL (022)384-3151(代) FAX (022)381-1169

センターからのお知らせ

第16回 QOL 推進講習会が開催されました



平成19年2月17日(土)に仙台駅前アエル5Fの会場において、第16回 QOL 推進講習会が開催されました。

静岡がんセンターの大田洋二郎先生の「ターミナルステージにおける口腔ケア」の特別講演を皮切りに、当センター形成外科後藤科長から「緩和ケア病棟における褥瘡発生率」の基本講演がありました。

最後に、パネラー3名による「ターミナルステージにおける褥瘡ケア」のシンポジウムがあり約3時間の講習中、東北各地から集まった医療関係者約300名が熱心に聞き入りました。

都道府県がん診療連携拠点病院の指定を受けました

平成18年8月24日、都道府県がん診療連携拠点病院として当センターと東北大学病院が指定を受けました。

都道府県がん診療連携拠点病院は、原則都道府県に1箇所の指定ですが宮城県においては、2つの病院における役割分担が認められ指定を受けました。併せて、県内7つの拠点病院による協議会が平成18年12月に設立され、今後、県内のがん診療の推進を担っていくことが確認されました。



交通案内

- J 宮城交通バス** 東北本線名取駅下車、バスまたはタクシーを利用
名取駅西口から「県立がんセンター」行きを利用
「げんき名取号(愛島線)」
- R 名取市福祉バス** 名取市役所前から「北目上原」行きを利用
- 自家用車** 仙台南インターからは、国道286号バイパス經由
県道仙台・岩沼線を利用(所要時間約15分)

相談支援センターのご案内

- 受付時間 (面談)午前10時から12時
(電話)午前8時30分から午後5時15分まで
- 面談場所 がんセンター 相談室(1階)
- 電話 (022)384-3151(代)

宮城県立がんセンター
〒981-1293 宮城県名取市愛島塩手字野田山47の1
電話(代表)(022)384-3151 FAX(総務班)(022)381-1168

ロゴマークの3本の柱は「治療、予防、研究」を、上の「まる」は患者さんを表しています。3本の柱が、患者さんを支えるという意味です。